

HRガイド

潜在意識から掘り起こす 行動変革の新手法

～次世代幹部が未来志向で動き出す理論とワークショップ～

ff Mental Room (フォルテッシモメンタルルーム) 代表 久瑠 あさ美

■ 壁を突破する視座の高い「人材」を

どの企業もイノベーションが求められているという点で中長期の経営課題は共通している。昨日の延長で今日を生きながらえたとしても、今日の延長で明日は乗り越えられないリスクがじりじりと増殖してくる切迫感、経営に近い立場ほど深刻に違いない。ゆえに、イノベーションを起こし未来の成長を担う人材を期待して、「我が社にもジョブズのような逸材を育てる」という無茶ぶりがときに人事部門にも飛んでくる。

ただ、従来の延長が通じないという前提に立つとき、改善では追いつかないという絶望的なジレンマに陥る。期待される次世代幹部たちも、従来の仕事で成果を出し高い評価を得てきたのだとすると、壁を乗り越えるための絶対的な“何か”が不足している。過去の経験・知識・周辺事例を神経質に点検してもおそらく解は見つからない。そこで、“壁の先を見るヒントは視座の高さにある”と提案しているのが本稿の著者だ。さらに、視座を高め、行動を起こす鍵は潜在意識に目を向け自分を知ることだと、メンタル強化の専門家の立場から解き明かしている。先を見て壁を突破する人材を育成する新手法に要注目。 (編集部)

CONTENTS

- 1 「マインドの法則」
どうすれば人は変わるのか
 - ビジョンを共有し、10年先の企業の未来を変える
 - 意識全体の90%以上を占める意識できていない潜在意識
 - 自分が変われないのはメンタルブロックのせい
 - 「心の視点」を上げることでもの見方が変わってくる
 - 世界に出て活躍したいならまず潜在意識の“自分”を知る
 - 「自分軸」を持ち人生の決定権を自分で持つ
- 2 選抜メンバーを対象に
研修で活性化を図る
 - 意識できていない部分にまで行動変革を促す
- 3 メンタル行動変革
ワークショップの実際
 - 1泊2日で行う企業研修「行動変革ワークショップ」
 - 様々なワークで潜在意識を掘り出していく
 - 単なる研修を超え社員と会社の運命を変える
- 4 未来を担う人材を創る
「人材」を「人財」に変える
 - この先の時代を企業が生き抜いていくために
 - マインドコアトレーニングで「人材」から「人財」へ

■久瑠あさ美：

心療内科のクリニックで心理カウンセラーとして勤務後、トップアスリートのメンタルトレーニングで注目を集め、企業経営者はじめ、延べ5万人を超えるクライアントからの信頼を得る。メガバンク、東証一部上場企業、自治体での研修において、潜在力を引き出す人材育成プログラムを実施し、慶應義塾大学での講義も行う。「心を創るマインド塾」「鏡面感覚トレーニング」のワークショップを毎月主宰。多数のメディア出演実績。累計92万部の著書がある。

■ff Mental Room (フォルテッシモメンタルルーム)：

●TEL：03-6261-6442 ●E-mail：info@ffmental.net ●URL：http://ffmental.net/

